#### **MYSTERYDOKUSHOANNAIMYSTERYDOKUSHOANNAIMYS**

# ミステリ読書案内

2024. 6. 19 発行元

第 583 号 伊藤 剛

https://mystery-dokuan.com

#### **MYSTERYDOKUSHOANNAIMYSTERYDOKUSHOANNAIMYS**

# 小路幸也「キャント・バイ・ミー・ラス」

4月に集英社から小路幸也の『東京バンドワゴン・シリーズ』の第19 作『キャント・バイ・ミー・ラブ』が出た。大河ドラマのような流れで、 堀田家の面々+仲間たちが日々、そして一年一年成長していく物語だ。

#### 研人のバンド活動が続く

いつもながらの四つの季節に合わせた短編四話からなる構成。堀田家を中心にした東京バンドワゴンの一年が過ぎていく。

今回の出だしは、人気アイドルグループ「カラーナンバー7」の曲を研人を中心にしたバンドグループが請け負う話から。カラーナンバー7のメンバーが作った詞に曲をつけていく。メンバーの三人が世間に知られないよう秘密裏に東京バンドワゴンの家を訪ねてきて、共同の曲作り作業をしていく。

人気者どうしの組み合わせ企画にどんな意図があるのか…。仕掛け人が裏に隠れているのか…がこの話のポイントになる。

#### 新しい計画クリエイターズ・ビレッジ

もうひとつ新しい動きで出てく るのが、かつて銭湯だった隣地を取 得したので、そこに総合芸術の学び の場「クリエイターズ・ビレッジ」 を作ろうと考えたこと。何しろ堀田 家は古本屋としての各種資料が整っている上に、音楽系も美術系も演 劇系も人材が揃っている。それを生 かそうと考えたわけだ。

第二話以降も若い世代の動きが中心に。勘一や我南人の世代は見守り役としての位置づけになる。その次の世代もしつかり者揃いなので、大事に発展しそうな出来事もすぐに落ち着いていく。ミステリ要素は完全に薄れてしまった。すっかり「大河ドラマ」の安定感である。

### すっかり常連向けの話で…

こうして見ると、すっかり常連様専用のシリーズになってしまった気がする。登場人物の幅が広くなってしまったので、前作までの流れを知らない人には理解不能になってきていると思う。勘一がどんな人だったのか、北OVETIMERがどんなロックグループだったのかは本作一冊だけでは伝わらない。

#### 《東京バンドワゴン・シリーズ》

- 1. 東京バンドワゴン
- 2. シー・ラブズ・ユー
- 3. スタンド・バイ・ミー
- 4. マイ・ブルー・ヘブン ※
- 5. オール・マイ・ラビング
- 6. オブ・ラ・ディ オブ・ラ・ダ
- 7. レディ・マドンナ
- 8. フロム・ミー・トゥ・ユー
- 9. オール・ユー・ニード・イズ・ラブ
- 10. ヒア・カムズ・ザ・サン
- 1 1. ザ・ロング・アンド・ワインディング・ロード
- 12. ラブ・ミー・テンダー ※
- 13. ヘイ・ジュード
- 14. アンド・アイ・ラブ・ハー
- 15. イエロー・サブマリン
- 16. グッバイ・イエロー・ブリック・ロード ※
- 17. ハロー・グッドハイ
- 18. ペニー・レイン
- 19. キャント・バイ・ミー・ラブ

まあ、シリーズものってそんな傾向が出るのは当然だから、自然な流れ。発行部数も決まったところに納まるのだろうなぁと思う。

--------------

# ミステリ要素かあると有難い

私のような「ミステリ読み」から するともう少しミステリの要素が あると有難い。「日常の謎」で構わ ないので、堀田家に何らかの不思議 が舞い降りるのが望みなのだが。

## 早坂客「VR浮遊館の謎 探偵AIのリアル・ディープラーニング」

潮文庫 nex から出た本。『探偵AIのリアル・ディープラーニング』『犯人IAのインテリジェンス・アンプリファー』『四次元館の殺人』に続くシリーズ四作目。AI探偵・相以(あい)とその助手・合尾輔(たすく)がセットになって事件や課題捜査に取り組む形。世の中に急速に広まりつつあるAIの活躍をミステリに取り入れ

ようとする新しい試み。本書を読むと今まで以上にゲームの世界に近づいたなと感じる。今回はフルダイブ型(体ごと入り込むような)のVR(バーチャルリアリティー)=仮想現実世界に相以と輔が参加する展開となる。小説家のAI・フォースが手掛けた「浮遊館」でのゲーム。画面ではなく、全身で動き回れる世界というのが特徴。Aiの相以にもアバターとしての体が与えられる。八人の参加者があり、それぞれが魔法のアイテムが使えるよう設定されている。輔が最初に持つのは「火の魔法」。杖の先から火球を飛ばして攻撃することができる。他者がどの魔法を所持しているかは秘密になっている。ここからゲーム独自のルールが説明されていくのだが、理解するにはちょっと努力がいる。一番特殊なのは、全員無重力状態のような空中を浮遊していること。どうやら「風の魔法」が発現していて、フワフワ状態になっているらしい。ゲームが始まって間もなく、一人が全身の骨を折られて死体になって発見される。犯人AIの以相(いあ)が影で画策しているようなのだが…。後半は理詰めの犯人探しになっていく。さて、この「浮遊館」の正体は?